

# 消防 DX 「救急資器材管理アプリ」の実証実験を始めます

担当：消防本部 消防署 小林（電話 0979-22-9833）

行政経営改革・デジタル推進課 森下（電話 0979-62-9874）

## 1. 趣 旨

本市は昨年度から様々な分野におけるデジタル化を進めており、消防本部においても手順のオンライン化やリモート講習など、積極的にデジタルサービスを提供しています。

今回は、救急業務に係る資器材の在庫管理をクラウド化し、スマートフォンなどで操作可能なアプリケーションを職員自らがノーコードツールを活用し開発しました。

今後は、11月中旬から開始する実証実験を通して効果検証を進めていきます。

## 2. 内 容

### 救急業務における資器材の管理とは

救急活動を効果的に行うためには、傷病者の症状に適応した救急資器材を選定することが大切です。救急救命士の処置拡大に伴い、取り扱う資器材の種類と数量は増加しており、在庫数量に過不足が生じないように徹底管理が求められます。

従来は、紙で管理しており、救急出動が連続した場合は管理作業が煩雑になり、救急隊の負担となっていました。



### 「救急資器材管理アプリ」とは

救急車両に積載している病院連絡用スマートフォンで「救急資器材管理アプリ」を使用します。アプリには、全ての資器材が登録されており、出入庫登録が可能のため、WEB上で出入庫履歴や在庫数を即座に共有することができます。また、在庫残数や使用者情報が自動入力されるため、大幅な業務効率化につながります。



## ノーコードツールとは

ノーコードツールとは、コーディングによるプログラミングを用いずにアプリやwebサイトなどのソフトウェアを開発できるツールです。今回は「Google AppSheet」を活用し、スマートフォンで利用できるアプリケーションを職員自らが開発しました。

ノーコードツールを活用するメリットは、気づいた点を職員自らがいつでも修正、開発できる点です。

## 参考. 中津流 DX の紹介

「中津流 DX」サイト：<https://www.nakatsudx.com>

